

はじめに

電力システム改革の進展やエネルギー基本計画の見直し、需要家のプロシューマ
ー化による需要カーブの変化など、電気事業を取り巻く環境が大きく変化する中、こ
れからは「需給協調」というコンセプトが重要です。ENIC では、需要家の分散型エネ
ルギー資源（DERs：Distributed Energy Resources）を情報ネットワークで繋ぎ、需給
双方のメリットを最大化する「次世代電力需給プラットフォーム」の構築が必要と考
えています。電力自由化で先を行く欧米でも、配電プラットフォームを構築し、蓄電
池、電気自動車やデマンドレスポンス（DR）を活用した仮想発電所（VPP：Virtual
Power Plant）の実証をはじめ、DSO（配電系統運用者）がこれを管轄し、需給バラン
スの価値を TSO（送電系統運用者）に提供する実証など、様々な実験が行われ、運用
面での実効性やマネタイズの可能性などの観点から、その効果検証が進められていま
す。

一方、電気事業が社会やお客さまから選ばれ続けるためには、電化も含めた省エ
ネ・省 CO₂の推進、新たな顧客便益の提供など、電力バリューチェーンを活用した社
会問題の解決と新たなサービス提供など、CSV（Creating Shared Value）経営の重要度
がますます高まるものと考えられます。次世代電力需給プラットフォームでは、これ
までの配電システムをベースに、小売電気事業者やプロシューマーなどと情報を双方
向でやり取りすることで様々なサービスが提供できるのではないかと期待していま
す。

本冊子は、次世代電力需給プラットフォームの重要性、先行する欧米の動向、ENIC
の取り組みについて、その概要を取り纏めて紹介するものです。本冊子を読まれた
方々と、次世代の電気事業を支えるビジョンを共有出来ることを期待しています。

エネルギーイノベーション創発センター 所長
根本 孝七

